

五城目救急2

TORRIDE

此石

五城目消防広報誌

Vol.13

01 緊急車両紹介
高規格救急車 五城目救急2

02 団員紹介
第12・13分団 団員 八柳 創太

VOL.13 2023.11 五城目町消防本部 消防広報誌



SPECIFICATIONS

呼称	五城目救急2
車名	トヨタ・ハイメディック
全長	5650mm
全幅	1890mm
全高	2490mm
定員	7名
配備年	2019.10.9

五城目町消防本部 緊急車両紹介 高規格救急車

五城目救急2



前方



運転席



後方

一次世代の「救命」を目指して

我が国の救急業務は1933年に横浜消防署で開始され、今年で90周年を迎えました。

配備当初は応急処置資器材も乏しく、サイレン音も消防車と同じ「ウー」でしたが、時代の変化や技術革新とともに、心電図モニターの搭載、サイレン音を「ピーポー」に変更するなど、徐々に現代の救急車のスタイルが確立されていきました。

その後も救急車は少しずつ形を変え、現在は心肺蘇生や静脈路確保（点滴）をするための資器材を導入することで、より高度な救命処置が可能になりました。

当本部が2019年に新たに配備した「五城目救急2」は、従来の資器材に加えて最新の自動心臓マッサージ器や人工呼吸器を搭載し、次世代の救急活動を実現しました。

本特集では、そんな「五城目救急2」の全貌をご紹介します！

除細動器



心臓がけいれん（細動）し血液を流すポンプ機能を失った状態の傷病者に対して、電気ショック（除細動）を行う機器です。

除細動機能のほか、心電図や血圧などを測定できます。

心臓や呼吸が停止している場合に心臓マッサージを行う機器で、階段等があり圧迫する手を止める場合にも、効果的で安定した絶え間ない心臓マッサージを実現し、救命率の向上が期待できます。

自動心臓マッサージ器



呼吸管理バッグ

呼吸困難を伴う傷病者をはじめ、重症外傷、心臓や呼吸が停止している傷病者に対して、酸素投与や人工呼吸等の処置を行い呼吸状態の改善を図ります。気道に異物が詰まったときに使用する、喉頭鏡やマギール鉗子も入っています。

吸引器は口腔内や気道に貯留している唾液や痰、嘔吐物、血液等の除去を行うことで気道を確保する機器です。

口に入る部分には使い捨てのチューブが接続されます。



吸引器

救急隊員から皆様に知ってほしいこと

” 救急車が遅い ”

車内の傷病者の症状や道路の状況により走行速度を変えています。安全に安静に医療機関に搬送することが救急隊の役目でもあります。

” 救急車で病院に行くと早く診てもらえる ”

医療機関では「緊急性の高い順に応急処置」を行います。そのため軽症と判断された場合には、救急車で搬送されたとしても診察まで待たされることもあります。

” 救急車が揺れる ”

救急車には多くの資器材が積んであり乗車定員も多いため、その重さに耐えられるようサスペンション（車輪を支え衝撃を吸収する部品）を硬くしてあります。また、搬送中処置が行えるように車内を高く広くし、重心が高い設計になっております。そのため、カーブを走行する際は横転しやすい形状になっているので、安全に走行するためにも硬い足回りが必要になっています。

” サイレンを鳴らさずに来て ”

緊急自動車は道路交通法上、サイレンの吹鳴が義務付けられています。安全に少しでも早く現場へ向かうため、ご協力をお願いします。

” 救急車の適正利用について（お願い） ”

近年、救急車の出動件数、搬送件数が多くなってきております。またその一方で、救急車で搬送された人の約半分が入院を必要としない軽症という現状にあります。当本部は救急車2台と限られた数しかありません。本来救急車の必要がない傷病者に救急車が出動することで、命に関わる病気や事故による大けがで本当に救急車を必要としている傷病者の「救える命を救えない可能性」があります。ですが、救急車の要請を控えることだけが「救急車の適正利用」ではありません。救急車が必要かどうか判断に迷った場合には、迷わず119番通報をしてください。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

－ 団員紹介 －



五城目町役場の農林振興課で主に森林や木材、野生鳥獣に関する業務を担当し、地域のため消防団員としても活躍されている八柳創太団員。24歳の時、第12・13分団の伊藤分団長からの勧めで入団を決意しました。

消防団員として心に残っているのは平成30年の大雨で、冠水した大川地区のポンプでの排水作業、越水や住宅への浸水対策のための土のう積み、地域住民を背負って救助した活動で、幼少より馴染みのある馬場目川も、ときにはまったく違う表情を見せるのだと衝撃を受けたそうです。

そんな八柳団員、休日には図書館でリフレッシュをすることが多いと話してくれました。これからも自分の時間を大切にしながら、消防団員として役場職員としてますますの活躍を期待しています！

第12・13分団 団員
やつやなぎ そうた
八柳 創太

よぼうあんしんtopic!

冬に備えてホームタンクを点検しよう

猛暑が続いた夏が終わり肌寒い日が増えてきました。これからの時期はストーブなどの暖房器具を使う機会が多くなるかと思いますが、本格的に使用する前に、ホームタンクに亀裂やサビ、部品の欠損等がないか確認しましょう。

特に7月の豪雨災害で被災されたご家庭においては、浸水等の被害によりホームタンクの破損の可能性が高まっているので十分注意してください。

確かな点検で、安全で快適な冬をお過ごしください！



－ 五城目町の救急・火災件数 －



〔 救急件数 〕

〔 救急種別 〕

〔 傷病程度 〕

〔 火災件数 〕

(7月～9月)

(7月～8月)

7月 55件

急病 112件

軽症 62.6%

7月 1件

8月 53件

一般負傷 23件

中等症 29.3%

8月 2件

9月 44件

交通 8件

重症 8.1%

9月 0件

～編集後記～

日本は世界一「寝不足」な国。そんな調査結果があるのをご存知ですか？経済協力開発機構（OECD）のデータによると、日本人の平均睡眠時間は7時間22分で、他の国は8時間を超えています。6時間ほどの睡眠時間で日常生活は不自由なく送れるかもしれません。しかし睡眠不足の怖さは自覚がないうちに身体への悪影響が出てくることなのです。睡眠時間5時間以下と7時間以上の人を比較すると認知症のリスクが2倍違うそうです。秋から冬にかけて今が一番睡眠を取りやすい気候です。免疫力が低下してしまう冬を乗り越えるために「眠活」を始めてみませんか？暮らしの中で「睡眠」の優先順位を上げてみましょう。

